

みなさんの

の行方

平成20年がおだやかに明けましたが、政治の混迷や石油の高騰などのニュースから、試験の年が予想されます。

そんな中、今年も村長選挙が予定されていますが、山中湖村が新しい「転換の年」となるよう望みます。樋口は今年も「かわら版」や「対話」をおこなって、村政の実状をお知らせし、皆様と共に明るい暮らしに向けて歩んでまいりたいと思います。

平成18年度の決算審査について

昨年12月定例議会は、平成18年度の決算審査がおこなわれました。「広報1月号」に全体的な数値や円グラフ等が掲載されていますが、ご覧になりましたか？

今回、広報の報告に若干の解説を加え、財政の実状をお知らせしましょう。

村の会計方式は、単式簿記のため歳入・歳出の実態が明確ではありません。

例えば、税収も借金も、預金とくりくずしも全て合わせて「歳入」と表現されます。「歳出」も難しい行政用語と分類で、資産や行政コストの増減の把握が理解しにくいと思います。

また、「一世帯当たり」に使われたお金を解説している欄には、教育費に55万4418円も使われたと書かれています。

しかし、この中に「交流プラザ」の建設費が「社会教育費」として含まれており、この分を差し引け

18年度の税収・借金・基金の内容一覧(単位:円)

18年度の税収(決定額)	3,057,362,000
・未収入額	248,214,000
・回収不能額	41,002,000
18年度の借金発生額	143,500,000
18年度の借金返済額	983,935,000
18年度末の借金合計	8,757,504,000
18年度の基金取崩し額	50,036,000
18年度末の全基金残高	1,742,387,000
・借金返済用の基金残	717,039,000
・財政調整の基金残	744,223,000

ば実質約16万6,000円となります。教育現場にはなんとも気の毒な数値です。財政データの視点を改めて見たのが右の表です。広報を参考にしてください。



この注目のポイント

税金の未収入額が2億4,821万円、このうち固定資産税が2億1,719万円(88%)です。

過去5年間で回収できず欠損金とした額は4,100万円。今後が心配です。

基金総額は17億4,238万円。借金返済目的の基金(減債基金)は7億1,700万円です。山中浅間神社入会

管理組合からの寄付金15億円のうち約12億円は、減債基金に積んでおたはずです。

平成の森用地(ハリモミ純林)購入時の借金11億8,800万円は、また元利合計で1億2,000万円以上残っています(返済期間は平成32年度まで)。一体どうなっているのでしょうか？

交流プラザ運営収支の実体が明らかに

今回はじめて明らかにした交流プラザの経営実態について報告します。

最も驚くのは、初年度といえ2億4,786万円もの大金を使っています。71万円しか収入が無かったことです。備品購入を差し引いても1億6,900万円の実質運営費に対し、わずか4%の収入です。企画建設から予算作成時の責任者である企画課長は、オープニングは「たかたか」と答弁しました。しかし、売上げ予算は3,860万円だったはずで、実際の収入は予算の18%以下です。もし、般の会社であれば、明らかに責任問題です。

しかも、交流プラザ推進課長の、18年度の7月8月は、使用料が無料だったから」との答弁につき、19年度の収入実績を調査すると、表のとおりです。19年11月30日現在)

つまり、2年間で約3億8,000万円の運営費を使い、収入は約2,200万円

【管理運営にいくらかかったか?】(単位:円)

野外劇場管理委託料	22,663,410
スポーツ施設管理委託料	4,798,500
植栽維持管理+体験委託	17,174,000
運営委員会委託	44,635,910
職員等人件費	25,731,541
その他管理費	56,067,122
備品購入	76,797,097
18年度管理費合計	247,867,580
18年度管理費当初予算	245,742,000
19年度管理費当初予算	134,277,000

【収入はいくらあったか?】

	18年度	19年度
野外劇場	2,065,500	4,650,750
スポーツ施設	1,871,200	4,458,000
駐車場	1,331,521	6,500,000
臨時駐車場	1,257,101	未定
その他	188,720	51,000
使用料収入合計	6,714,042	15,660,050
使用料収入当初予算	38,672,000	31,599,050

だったのです。

さらに運営管理費をチヤクすると

野外劇場は株デイー・エヌ・イー(東京都)、スポーツ施設は株山梨スポーツクラブ(甲府市)植栽管理+体験はZOO富士山自然学校鳴沢村、臨時駐車場は観光協会に丸投げ委託をしています。4者の委託料合計は約5,000万円弱となり、野外劇場をはじめ委託の成果が全く現れていません。

また調査の中で植栽管理部門に多くの不明瞭な点がありました。植栽管理として1,717万円が出ているのに、「草取り」名目で50万円以上(当日7,000円)が支払われています。はた織り器などの道具や人件費、光熱費は村の税金から出ているのに、体験やツアアの参加料収入は、全額ZOO富士山自然学校の収入となり、村の収入は0円です。

体験施設内の一部を、ZOOの活動事務所として占有しています(営利活動の拠点)。この団体に、クマカインウやヒョウギの

職員人事の停滞を改善せよ

一般質問では、昨年6月に発生した元職員の横領事件を教訓として、公金の管理と人事管理に原因の一端があったと考え、人材育成や人事の長期停滞に対する改善をたどりました。村長が答弁の中で、人事の停滞は無い、といったため、次のような異常な事例を示したところ、人事権の侵害だ」と答弁する始末です。では、次の3つの事例について村民の皆さんはどのようにお考えでしょうか？

- 出納課 公金の取扱い、業者への支払
- 現出納係長：平成5年出納課へ配属、平成11年出納係長
- 出納課に20年、係長になって9年間異動なし
- 企画課 村政主要事業を計画管理し大規模業者との接触権限が集中する
- 現企画課長：平成9年企画課へ配属、平成12年企画課長
- 企画課に11年、課長になって8年間異動なし
- 現企画係長：平成4年企画課配属、平成14年係長
- 企画課に16年、係長になって6年間異動なし

一般に、人事の停滞は癒着や不正の温床となる。また、人事の停滞は組織内の意欲を減退させる」といわれます。実は、多くの村民や納業者の方から、山中湖村は「おかしな」と厳しい意見や指摘が樋口のところにも届いています。村長の認識不足は甚だしいものがあり、行政能力の欠如といつべきです。

村民の声を耳を傾け、村内外からの信頼と全職員の総合力を強めるためにも、横領事件を教訓とした人事の刷新が急務だと考えます。

見学案内料として、日当5,000円、7,000円計算で90万円以上が観光課から支払われています。交流プラザの運営実態をこのまま続ければ、毎年新たに1億数千円の新入金が、湯水の如く垂れ流され、超「金食い虫」を飼いつづけることとなります。

かつて、「観光の起爆剤」となる交流プラザに反対する」と新聞折込みで喧伝し、樋口家族を区民から除名した平野区の方々は、この実状をどう考えるのでしょうか。この点を、先頭きつて推進した天野凱弘議員に聞いたとすると、「観光の起爆剤だ」と無断と答えるのみです。責任を明確にすべきです。樋口は今後の交流プラザについて「自主運営」を含む根本的改革の断行が必要だと考えており、村民の厳しい監視の目をお願いしたいと思います。

お礼とお願ひ 村政についてのご意見や励まし・ご提言を、手紙 電話 FAXで沢山いただいております。さらにいろいろなお意見をお聞かせください。これからの活動に役立っています。

村議ひぐちの 村民かわらばん

2008年 1月 9日 第42号 発行責任者・ひぐち重喜

〒401-0502 山中湖村平野 1698 TEL&FAX 0555-65-7023

ホームページ http://h-kawaraban.jugem.jp/